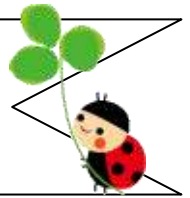




♪新着案内♪

図書だより 4月号



平成 28 年 4 月 22 日 輪島市立輪島中学校

今月は、「話題の本」の特集をします！図書室によく来てくれる常連さんたちの間でおもしろいと評判の本やマスコミでも取り上げられていた映画の原作本を紹介します。

「また、同じ夢を見ていた」 住野 よる/著

クラスと同級生より賢くて大人びているがゆえに友達がいない小学生の女の子が主人公の物語。クラスの男子とのやりとりや学校以外で女の子が会うあたたかい人たちの優しさが心にすーっと入ってきます。孤独でも女の子の生き方は、勇気があってすがすがしいものがあり、かっこいいのです。

ラスト1ページでなんだかほっとした気持ちになって目頭がじーんと熱くなりました。



図書室の常連さんが泣いた！



同じ著者で「君の^{すいぞう}臍臓をたべたい」もおすすめ。

こちらも上記の作品同様、貸出頻度が高いです。2016年本屋大賞にノミネートされました。ある女子高校生は臍臓の病気で余命があとわずかだが悲観しすぎることもなく割に淡々と日常を送っていた。同じクラスの男子がその女子高生の日記をひょんなことから読んでしまい、ぎこちない恋愛ごっこのようなものが始まるのです。泣ける要素が沢山つまった小説。



こちらが住野よるさんのデビュー作です。



「蜜のあわれ」室生 犀星/著（金沢三文豪のひとり）

現在二階堂ふみさん主演の映画が絶賛公開中ですが、その原作本になります。石川県でもロケが行われていたそうです。なんと金魚が主人公の物語でおじさんと金魚（女の子に変身できる）のやりとりがなんともかわいらしくて難しい文学のイメージを良い意味で壊してくれます。幽霊の女も出てくるし、少し不思議なファンタジーの世界を感じられます。



短編集です。犀星の闘病記も収録。

ちなみに、室生犀星に一目を置いていたのが、かの有名な芥川龍之介だと言われています。

こちらも図書室にあるので、どうぞ。



「羅生門 現代語訳」芥川 龍之介/著

